

報道関係者各位

2026年4月24日

株式会社ラクーンコマース

**スーパーデリバリー、「2026年1月～3月 仕入れ価格動向レポート」を発表  
～原材料高の影響が残るチョコレートやパン類を中心に食品ジャンルは高水準で推移  
新生活需要関連は落ち着き横ばいに～**

株式会社ラクーンコマース（本社：東京都中央区、代表取締役社長：和久井 岳）が運営する卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」は、2026年1月～3月における商品仕入れ価格の動向をまとめた「仕入れ価格動向レポート」を発表しました。



### ■背景と目的

スーパーデリバリーは、国内メーカーと小売店やサービス業などの事業者が取引する卸・仕入れサイトです。日本の事業者を対象とした国内版に加え、世界134か国への卸販売が可能な越境版も展開しています。アパレルや雑貨を中心に、家具、生活家電、食品など幅広いジャンルの商品が200万点以上掲載されています。

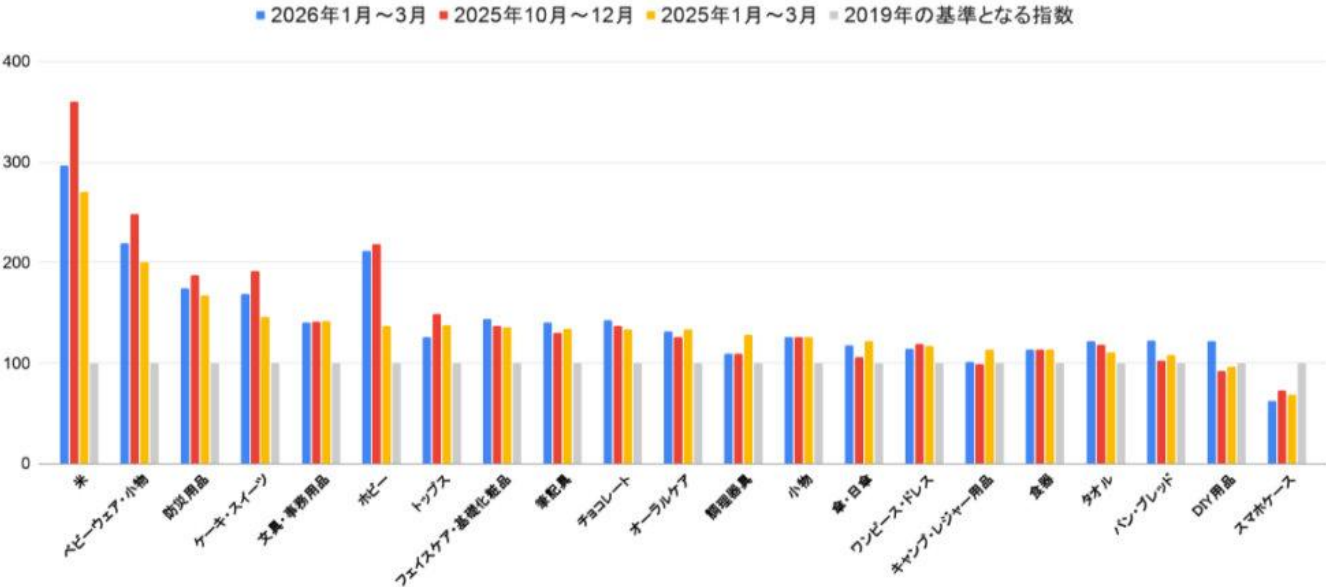
本レポートは、卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」における商品の仕入れ単価（1個あたり）の動向を、2019年を基準（=100）とした価格指数として分析したものです。2026年1月～3月のデータに基づき、主要ジャンルごとの価格変動を前期（2025年10月～12月）と比較しながら解説します。

### ■ 仕入れ価格指数の動向

2026年1月～3月期の価格動向は、「米」の異常高騰がピークアウトを迎え、落ち着いた兆しを見せたことが最大のトピックです。また、年末商戦の反動で「ケーキ・スイーツ」などが下落に転じました。

一方で、カカオ豆の世界的な価格高騰とバレンタイン需要が重なった「チョコレート」や、小麦価格等の影響を受ける「パン・ブレッド」、さらには春の需要期に向けた「DIY用品」などで力強い上昇が見られ、インフレの波及先が変化している様子が浮き彫りとなっています。

### カテゴリ別 仕入れ価格指数



カテゴリ	2026年 1-3月	2025年 10-12月	2025年 1-3月	2019年の 基準となる指数
米	296.9	360.1	270.2	100
ベビーウェア・小物	219.6	248.6	200.8	100
ホビー	211.9	218.9	137.2	100
防災用品	174.0	187.7	167.7	100
ケーキ・スイーツ	168.9	191.6	145.8	100
フェイスクア・基礎化粧品	144.0	136.8	135.6	100
チョコレート	142.4	136.8	133.6	100
文具・事務用品	140.3	141.1	142.1	100
筆記具	140.3	130.1	134.3	100
オーラルケア	131.7	125.9	133.6	100
トッパス	126.4	148.6	137.6	100
小物	125.7	125.8	125.9	100
パン・ブレッド	122.4	102.3	108.3	100
DIY用品	122.2	92.5	96.1	100

※本リリースでは主要カテゴリを抜粋して掲載しています。全カテゴリの指数一覧は以下をご覧ください。

#### 全カテゴリの価格指数一覧

<https://blog.superdelivery.com/aboutsd/report/141973.html>

#### 前回の調査はこちら

スーパーデリバリー 仕入れ価格動向レポート 2025年10月～12月までの物価高を調査

<https://blog.superdelivery.com/aboutsd/report/134673.html>

## ■ 前期比で上昇が目立ったカテゴリ

### ・ DIY用品(+32.1%)

前期の92.5から122.2へと、急激な上昇を記録しました。春先の新生活やリフォーム需要に向けた仕入れが活発化する中、資材価格の高騰がダイレクトに仕入れ価格へ反映されたと考えられます。

**・パン・ブレッド(+19.7%)**

前期の102.3から122.4へ大きく反発しました。小麦や油脂類など原材料費の再値上げ圧力に加え、物流コストの上昇が価格転嫁された可能性があります。

**・チョコレート(+4.1%)**

カカオ豆の世界的な価格高騰という強力なコストプッシュ要因に加え、1月～3月はバレンタインデーやホワイトデーといった年間最大のイベント需要期にあたります。高付加価値商品の仕入れが増加したことで、指数が前期から着実に上昇しました。

**・フェイスクア・基礎化粧品(+5.2%)**

136.8から144.0へ上昇。春の紫外線対策や新生活に向けたスキンケア需要の高まりにより、単価の高い美容液や高機能アイテムの動きが活発化した可能性があります。

**■ 前期比で低下が目立ったカテゴリ****・米(-17.5%)**

2025年10月～12月期に「360.1」という異常値を記録した米ですが、今期は296.9へと大きく下落しました。パニック的な品薄や新米シーズンのピークが過ぎ、市場への供給が一定の安定を取り戻したことが要因です。ただし、2019年基準（100）と比較すると依然として約3倍の水準であり、高止まりの状態であることに変わりはありません。

**・ケーキ・スイーツ(-11.8%)、ベビーウェア・小物(-11.7%)**

「ケーキ・スイーツ」は191.6から168.9へ、「ベビーウェア・小物」は248.6から219.6へと下落しました。これは価格下落というよりも、クリスマスやお歳暮、年末年始の大型ギフト需要が前期（10月～12月）に集中したことの反動減（高単価商品の割合低下）によるものと推察されます。

**・トップス(-15.0%)**

148.6から126.4へ下落。冬物アウターなどの高単価商品の仕入れが一巡し、単価の低い春物衣料へのシフトが進んだこと、および冬物のクリアランスセールに向けた価格調整が反映されています。

## ■ 前期比で変化が見られなかったカテゴリ

今期、価格がほとんど動かなかったのは「小物」（前期比-0.1ポイント）と「食器」（同+0.1ポイント）でした。両カテゴリは、季節トレンドや一時的な需要の波に左右されにくい商材が多く、仕入れ価格の変動が極めて安定している傾向があります。また、「文具・事務用品」も前期比-0.8ポイントと、新生活前でありながら価格水準を維持しています。

## ■ まとめ 米高騰は一巡、一方で原材料高が続く食品では安易な値下げに注意

2026年1月～3月期のデータは、特定の原材料パニック（米の異常高騰など）が一巡し、「イベント・季節性」と「構造的な原材料高（カカオや小麦など）」が入り混じった結果になりました。

価格が下落傾向にあるカテゴリへの対応としては、「米」のように価格高騰が一巡しピークアウトの兆しが見られる商材や、季節の変わり目によって仕入れ単価が下がりやすいアパレル類について、低下した仕入れコストを販売価格に柔軟に反映することが重要です。価格調整を通じて需要を喚起し、在庫の滞留を防ぐことで、在庫回転率の向上を図る施策が有効と考えられます。

一方で、価格が上昇傾向にあるカテゴリへの対応も慎重さが求められます。「チョコレート」や「パン」など、原材料価格の高止まりが続くカテゴリでは、安易な値下げによって利益率を損なうのではなく、商品の背景や価値を丁寧に伝える工夫が欠かせません。加えて、関連商品のセット販売や提案型の販売手法を取り入れることで、客単価を維持・向上させる取り組みが有効といえるでしょう。

物価を取り巻く環境は、カテゴリごとに「高止まり」「反発」「沈静化」と異なる動きを見せ始めています。スーパーデリバリーは、今後も定期的にデータを公表し、事業者の皆様がデータに基づいた的確な経営判断を行うための一助となるよう努めてまいります。

### ■ 調査概要

- ・分析対象データ：卸・仕入れサイト「スーパーデリバリー」における商品取引データ
- ・指標：ジャンル別 仕入れ価格指数（2019年の平均価格を100とする）
- ・分析対象期間：2026年1月1日～3月31日

※本レポートの価格指数は、スーパーデリバリーにおける実際の取引データに基づき、各カテゴリ内の商品単価（1個あたり）を加重平均して算出しています。基準年は2019年（1月～12月平均）=100です。

※これは卸売段階での価格動向を示すものであり、消費者物価指数（CPI）や企業物価指数（CGPI）とは異なります。  
※指数はカテゴリ全体の平均的な動向を示すものであり、個別の商品価格の変動とは必ずしも一致しません。  
※価格指数の変動率（前期比）をパーセントで表記しています。

## ■参照

スーパーデリバリー <https://www.superdelivery.com>

メーカーと小売店やサービス業などの事業者が取引する卸・仕入れサイトです。商品掲載数は200万点超。メーカーにとっては、地域を超えた50万店舗への販路拡大ツールとして効果を発揮し、小売店にとっては3,300社を超える出展企業とインターネットを通して取引でき、仕入先を大幅に拡大することが可能です。またコストや手間、リスク等を解消し効率的な取引を実現します。第1回日本サービス大賞にて地方創生大臣賞を受賞。（数字は全て2026年1月末時点）



株式会社ラクーンコマース

代表者：代表取締役社長 和久井 岳  
所在地：東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目14番14号  
設立：2018年11月  
資本金：300,000千円  
株主：株式会社ラクーンホールディングス100%  
東京証券取引所プライム市場上場 証券コード 3031  
URL：<https://www.raccoon.ne.jp/commerce>

### 本件に関するお問合せ先

株式会社ラクーンホールディングス  
広報担当 大久保  
MAIL：[pr@raccoon.ne.jp](mailto:pr@raccoon.ne.jp)

### サービスに関するお問合せ先

[https://www.superdelivery.com/p/contents/guide/help/help\\_form.jsp](https://www.superdelivery.com/p/contents/guide/help/help_form.jsp)